

令和5年度総合事業の評価結果の概要

- I 地域づくりを含む全体評価
- II 介護予防・生活支援サービス事業評価
- III 一般介護予防事業評価

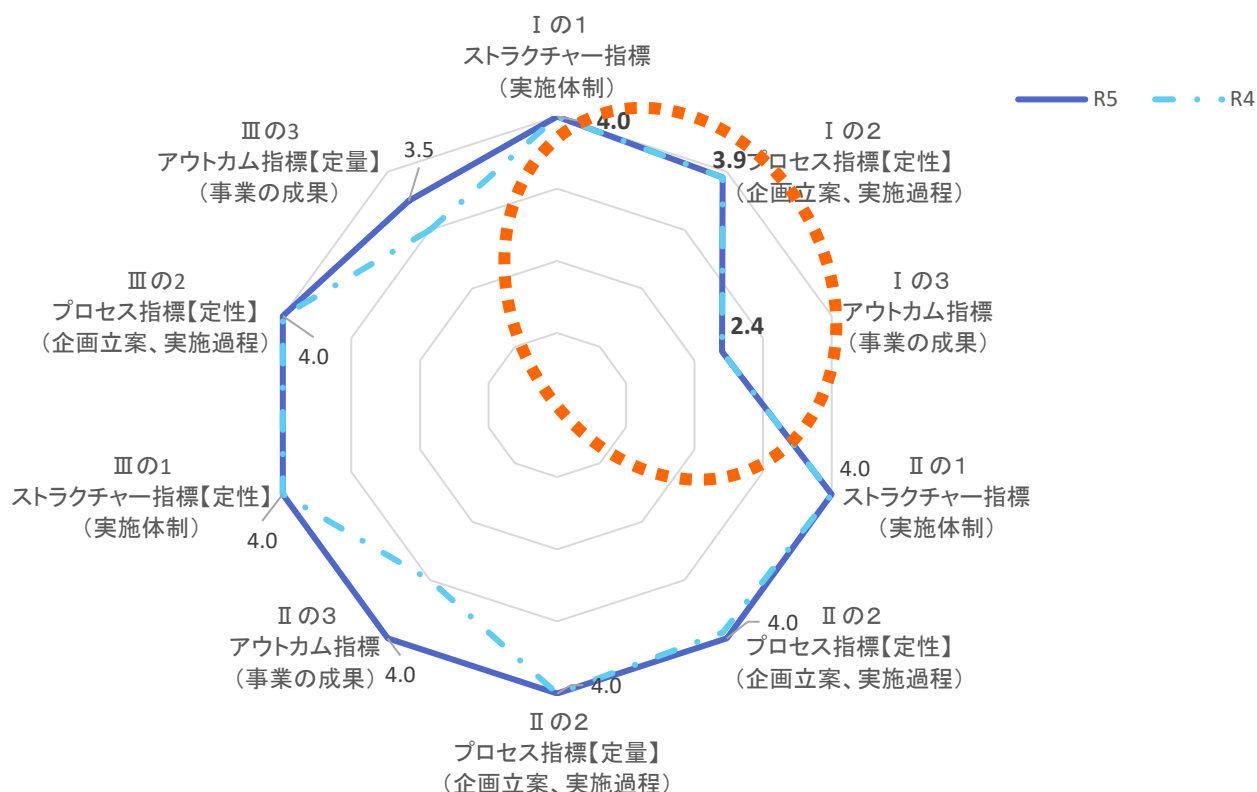
【カテゴリーと評価項目の対応関係】

◆地域づくりを含む全体評価

- ・ I の 1 ストラクチャー指標（実施体制）【定性評価】
1（1）～（2）
- ・ I の 2 プロセス指標（企画立案、実施過程）【定性評価】
2（1）～（6）
- ・ I の 3 アウトカム指標（事業成果）【定量評価】
3（1）～（6）

令和5年度総合事業の評価結果の概要

地域づくりを含む全体評価(14項目の平均): 3.5



【講評】

(1) 総評

○ Iの1 ストラクチャー指標（実施体制）【定性評価】

- ・事業を効果的かつ効率的に実施する上で、市関係部署と地域包括支援センター、地域支え合い推進員を配置している市社会福祉協議会との継続的な連携体制が構築されている。

○ Iの2 プロセス指標（企画立案、実施過程）【定性定量】

- ・地域支え合い推進員による定期的な地区社協への訪問、地域支え合い会議開催への支援、地域ケア会議等への参加により、地域課題やニーズの把握に努めている。

○ Iの3 アウトカム指標（事業成果）【定量評価】

- ・介護予防に関する費用額は計画額を下回っているものの、65歳以上の新規認定者割合及び要支援・要介護認定率、要介護2以上の認定率はいずれも緩やかに上昇して推移している。

(2) 重点的に取り組むべき事項

要支援・要介護状態になっても住民一人ひとりが自分らしく暮らし続けられる地域づくりを進めるため、各地区における住民の活動への支援を継続していく。

地域の主体的な支え合い活動が市内全域に広がるよう、市関係部署と関係機関・関係団体が互いに連携協力しながら取組を進めていく。

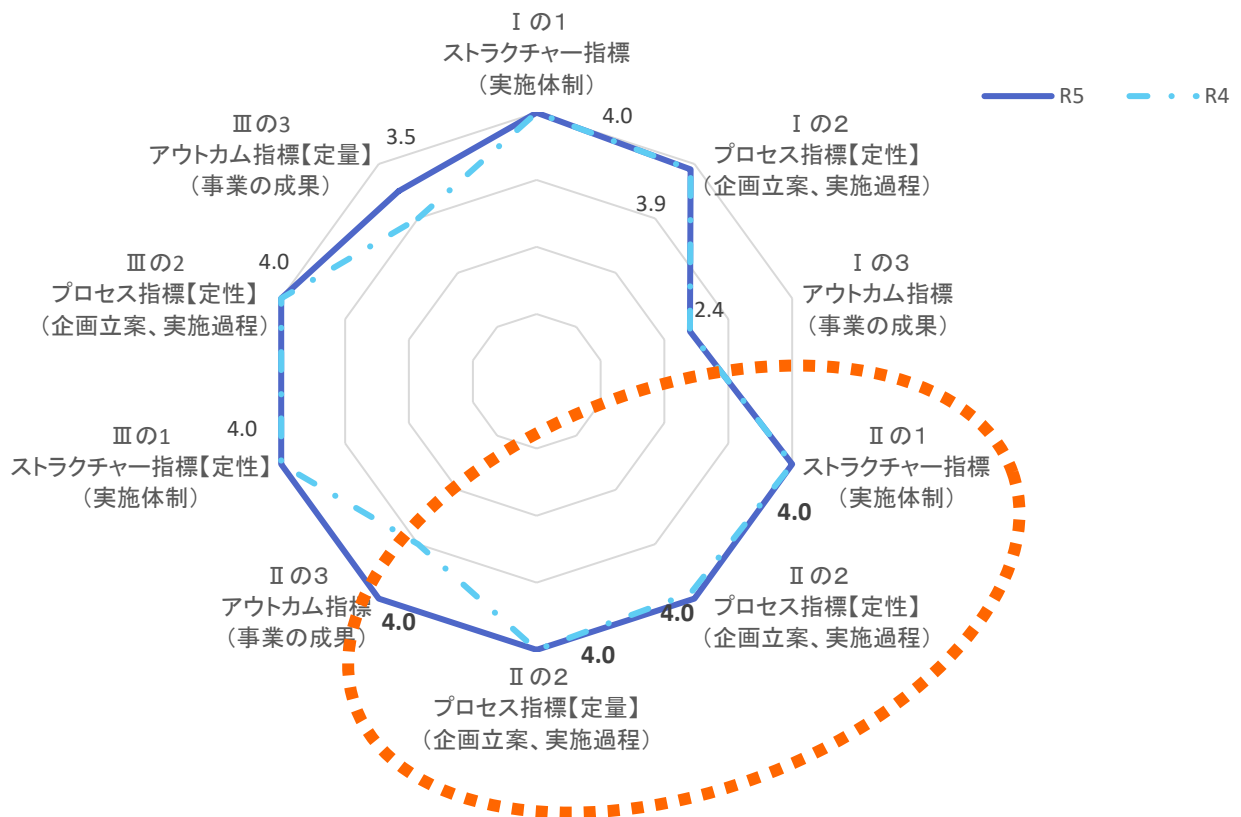
【カテゴリーと評価項目の対応関係】

◆介護予防・生活支援サービス事業評価

- ・Ⅱの１ ストラクチャー指標（実施体制）【定性評価】
1（１）
- ・Ⅱの２ プロセス指標（企画立案、実施過程）【定性評価】
2（１）～（６）
- ・Ⅱの２ プロセス指標（企画立案、実施過程）【定量評価】
2（７）
- ・Ⅱの３ アウトカム指標（事業成果）【定量評価】
3（１）

令和5年度総合事業評価結果の概要

介護予防・生活支援サービス事業評価(9項目の平均): 4.0



【講評】

(1) 総評

○IIの1 ストラクチャー指標 (実施体制) 【定性評価】

- ・包括支援センター等を対象とした実践的な研修の開催や理学療法士等の専門職と連携した「地域ケア個別会議(自立支援型会議)」の開催により、自立支援、介護予防・重度化防止に向けた連携体制が構築されている。

○IIの2 プロセス指標 (企画立案、実施過程) 【定性評価】・【定量評価】

- ・事業の実施内容については、令和4年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果を検討し、実施内容を見直し「高齢者福祉・介護保険事業計画 第9期計画」を策定した。
- ・市の介護予防担当部署に、社会福祉士や保健師等の専門職を配し、自立支援、介護予防・重度化防止に資する取組を継続して行っている。

○IIの3 アウトカム指標 (事業成果) 【定量評価】

- ・「要介護認定区分」の変化については、適切なサービスの利用が状態の維持・改善に効果的であるといえる。
- ・「基本チェックリストの該当項目の変化」や「主観的健康観」については、サービスの利用が利用者の維持・改善につながっていることが確認できた。

(2) 重点的に取り組むべき事項

専門職の視点を取り入れた自立支援、介護予防・重度化防止に向けた介護予防ケアマネジメントを推進する。

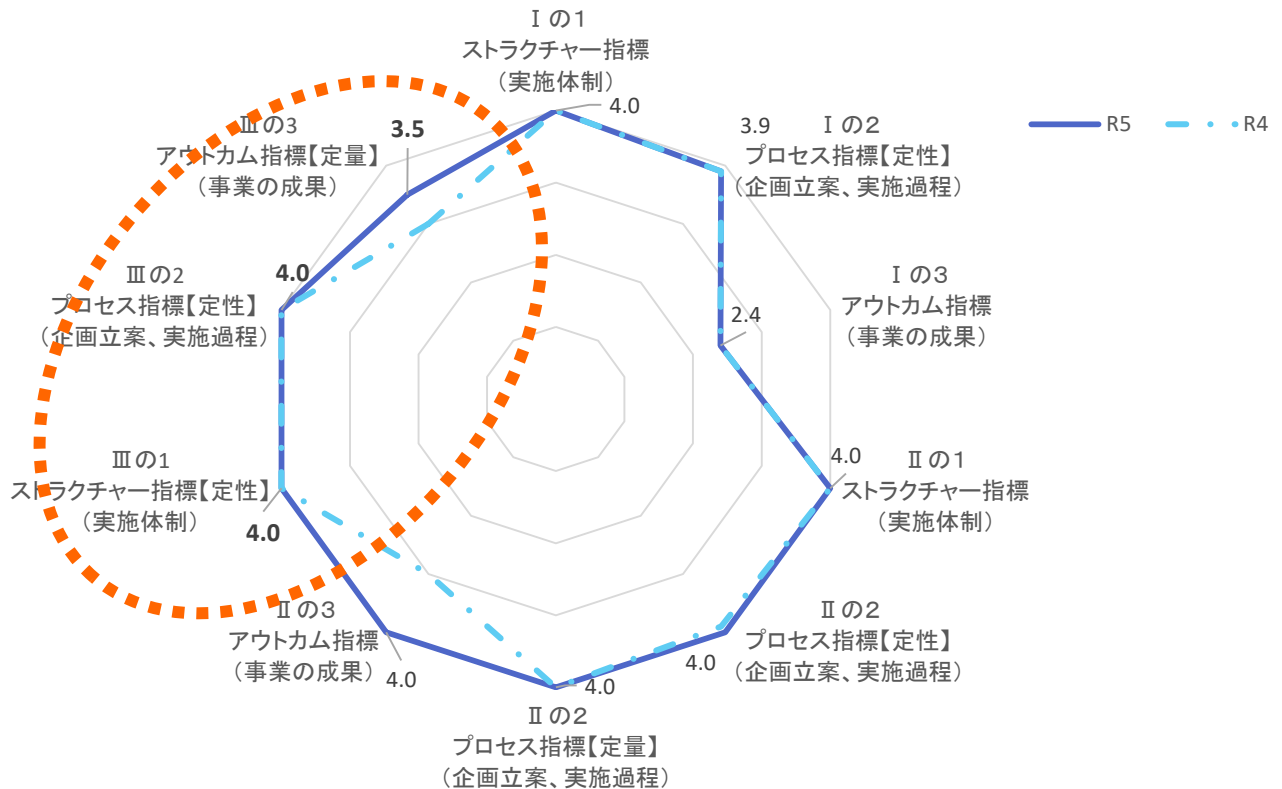
【カテゴリーと評価項目の対応関係】

◆一般介護予防事業評価

- ・Ⅲの１ ストラクチャー指標（実施体制）【定性評価】
1（１）
- ・Ⅲの２ プロセス指標（企画立案、実施過程）【定性評価】
2（１）～（１０）
- ・Ⅲの３ アウトカム指標（事業成果）【定量評価】
3（１）～（２）

令和5年度総合事業評価結果の概要

一般介護予防事業評価(13項目の平均): 3.9



【講評】

(1) 総評

○Ⅲの1 ストラクチャー指標 (実施体制) 【定性評価】

- ・高齢福祉分野 (高齢者支援課)、医療保健分野 (国保医療年金課)、健康増進分野 (健康づくり推進課) の保健師による、組織横断的・包括的な取組により連携・協働体制が構築されている。
- ・関係する部署間において、連携・協力体制を構築している。

○Ⅲの2 プロセス指標 (企画立案、実施過程) 【定性評価】

- ・医療専門職等による保健医療の視点からの支援が積極的に関与しており、つどいの場における内容の充実や魅力の向上につながっている。

○Ⅲの3 アウトカム指標 (事業成果) 【定量評価】

- ・つどいの場に参加する高齢者の体力測定データを分析・比較したところ、維持 (統計学的に差がない) が確認された。

(2) 重点的に取り組むべき事項

- ・高齢者の「つどいの場」の取組を進めるとともに、その効果を実証するため、参加者の体力測定データの分析等を行っていく。
- ・より多くの高齢者が地区にかかわらず参加できるつどいの場を推進する。
- ・つどいの場で実施した聞こえのアンケート調査の集計・分析を行い、難聴高齢者の早期発見、早期介入に関する取組について進めていく。